

Passion
パッション・インタビュー

今回は、藤山環境ボランティアグループ
代表 寺本康雄さんにお話を伺いました。

田舎の田園風景も いいものです！

自分が暮らすまちは 自分の手で守りたい



雑木の伐採作業です。いい汗かいています！

藤山環境ボランティアグループについて教えてください。
昨年の夏の終わり頃、市役所と開発建設部から、国道233号を通って留萌へ入ってきた時の道路沿いの景観を妨げている雑木の伐採や雑草の草刈りについて協力の呼びかけがありました。
藤山町内会では、もともと環境美化推進委員会という組織を設け、道路わきなどに不法投棄されたゴミの回収やクリーンステーションの修理などを地域で独自に行っていたため、その呼びかけを受けてすぐに住民有志10人でこのボランティアグループを立ち上げました。50代から70代までの男性10名で活動しています。メンバーの大半は農家の方なので、農作業の合間に活動を行っています。

これまで、どのような活動を行ってきましたか？
昨年は、美サイクル館へ向かう市道との交差点付近から、こさえる「付近までの国道沿いに生えている雑木を40本ほど伐採しました。最初は大したことはないと思っていましたが、木が思いのほか硬かったため、丸3日間の作業になりました。今年、6月から活動をスタート

トし、はじめは、6月から7月にかけて道路沿いに生えている雑草の草刈を行いました。作業はメンバーそれぞれの都合を調整しながら8回ほどに分けて行い、国道の両側約4キロの草刈を行っています。今年の2回目は、秋の雑木の伐採を予定しています。

活動の中で苦労されたことやよかったことは何ですか？
作業は主に草刈機やチェーンソーを使って行っていますが、チェーンソーについては、メンバーの中に持っている人がいなかったため、知り合いの企業などに借りたり、使い方の技術指導を受けたりしながら、活動をはじめました。はじめは慣れていないこともあって時間はかかるし、腕や足腰も痛くなるなど、手間取りましたが、今では随分慣れました。
よかったことといえば、チェーンソーを貸してくれたら、機械の燃料を提供してくれる企業の温かい協力があつたことです。



草刈はみなさんベテランです！

藤山のような田舎にも田舎のよさがあります。のどかな田園風景もその一つであると思いますので、道路からその風景を見渡すことができるようにこれからも活動を続けていきたいと思っています。
みなさんもたまには田舎からまちを見つめてみてはどうでしょうか。

藤山のみなさんは環境に対する意識が高いのでしょうか？
特に意識していることはないと思いますが、昔から地元への愛着が強く、団結力がある土地柄が影響していると思います。開拓魂も受け継がれているのではないのでしょうか。

環境に関して言えば、やはり美サイクル館の建設に伴い、当時、建設予定地の住民として、ゴミ処理に関するさまざまなことを勉強し、体験できたことが、環境に対する意識を高めていくきっかけになったのではないのでしょうか。
最後に、これからの抱負を聞かせてください。
環境ボランティアグループの活動をはじめて、まだ、2年目ですが、あまり無理することなく長続きするような取り組みをしていきたいと思っています。先ほど話した企業等の参加や協力の輪も徐々に広がってきていますので、このような活動が少しずつでも他の地域な

PROFILE

寺本康雄さん

藤山環境ボランティアグループ
代表
問合せ
TEL 0164・42・7309



留萌の元気発見！ 留萌びと倶楽部



ボランティア活動としてパントマイムを演じる押切さん。小さい頃はどちらかというと内気な少年だったそうです。「パントマイムをやっていると身体がおしゃべりになる」と話してくれました。いわゆる表現力や表情が自然と豊かになるそうです。好きな言葉は自作の「臨機応変」...深い意味が？ニックネームはチャカボ!

押切吉紀さん
おしぎり・よしのり

ムーンウォークをやってみよう！
当時、大学生だった私は友人と企画した忘年会で出し物をやることになり、その頃流行っていたマイケル・ジャクソンのムーンウォークとちよつとしたパントマイムの真似ごとを披露しました。友人にはややウケ程度でしたが、自分としては演じることが結構面白く感じたため、もっと本格的にやってみようと思ったのがパントマイムとの出会いです。

まずは、パントマイム仲間を集めて市民サークルを発足するため、会員の募集を行いました。最初に集まったメンバーは4名で、私以外は社会人でした。メンバーの入れ替わりもありましたが、約3年間活動を続けました。主な活動は定期的な練習と地域で行われるイベントやお祭りなどへのボランティア参加です。
道内の市町村役場などにPRし、依



教え子のマモちゃんとパフォーマンス

頼があれば各地のイベントなどに出かけ、ステージや大道芸のパントマイムを行っているうちに、どんどんパントマイムにはまっていきました。
パントマイムをはじめ、4年目の頃、自分の心の中で、趣味でやっていたパントマイムが職業や生き方の対象へと変化し、その気持ちを抑えることができなくなっていました。「大道芸で生きていきたい！」その思いを親に伝えましたが、大反対です。それでもあきらめきれず、パントマイムを一生の仕事としてやっていくのかを見極めるため、大学を1年間休学し、仕事としてパントマイムに挑戦することを決めました。

しかし、想像以上に厳しい現実を目の当たりにし、簡単なことではないということを実感しました。今ではこの経験が貴重な財産となっています。
教員になった今もボランティアとしてパントマイムを続けています。留萌に転動してきてからは、市内の幼稚園や児童館などで時々活動しています。今年、留萌のビッグイベントの一ツ、ラブリバー川まつりに招かれ、大勢の観客の前で、昨年卒業した教え子と二人で演じました。
今の目標は、留萌管内制覇です！

まだ管内では、残念ながら小平町以北のまちで演じたことがありません。ぜひ、行事等の出し物でお悩みの主催者の方は声をかけてください！